

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
肺癌(非小細胞) ラムシルマブ+エルロチニブ併用療法		14日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
day1	ジフェンヒドラミン錠10mg 5錠 Rp1開始と同時に内服 ① 生理食塩水100mL 点滴開始と同時にジフェンヒドラミン錠10mg 5錠内服 ② 生理食塩水250mL+ラムシルマブ 10mg/kg 0.2又は0.22 μ mのインラインフィルター使用 調製後13時間以内に投与終了 希釈後の濃度は0.4~4mg/mLとする 2回目以降は30分に短縮可能 ③ 生理食塩水50mL(フラッシュ用)		
連日	① エルロチニブ 150mg 1錠 1日1回空腹時		
コメント	Rp.1点滴開始と同時にジフェンヒドラミン錠10mg 5錠内服 d1-14 エルロチニブ 150mg/日内服		

プロトコールに関する解説
<p>EGFR変異のあるIV期肺癌に対する治療法です。エルロチニブ+ラムシルマブ併用療法とエルロチニブ+プラセボ療法を比較した第III相試験(RELAY試験)では、主要評価項目である無増悪生存期間の延長(19.4カ月vs 12.4カ月)が示されました。現在最も使用されているオシメルチニブと直接比較したデータはなく、2週毎の通院負担が大きいという欠点もあります。オシメルチニブが使用できない場合の一つの選択肢と考えています。</p>